

箕面市登降園管理システム導入等業務委託 にかかる 機能要件書

※ 本書に記載された機能要件をすべて満たすこと。

令和5年11月

}}

箕面市教育委員会事務局
子ども未来創造局 保育幼稚園総務室

機能要件書

1. 共通機能

項目	No.	機能要件
共通基盤	1	園児の情報として10桁以上の任意の数字を設定することができ、管理できること。
	2	年度更新などの処理をスムーズに行うため、園児の情報を一括インポート・エクスポートできる機能があること。 また、本項目内項番1の数字についてもこの機能により、まとめて園児の情報を更新することができること。
	3	登降園管理について、共通基盤のうち項番1の数字を含めた形で、抽出の期間を指定した園ごとの登降園時刻をエクスポートできること。 (10桁以上の任意の数字(本項目内項番1の数字)、名前、所属、園名、日付、曜日、出欠、登園時刻、降園時刻の項目は必須)
	4	IPアドレス等により、アクセス制限を行うことができること。
	5	4回/日×14日(2週間)のバックアップデータを保存し、復旧ができること。
操作性	6	メインメニュー画面には、大型のアイコンまたはメニューボタンで各機能が表示されているなど、利用者がアクセスしやすい画面であること。
	7	タッチパネルを想定した画面UIであること。
	8	画面全体に統一感があり、デザイン性及び機能性に優れていること
	9	PC・タブレットでの使用に対応すること。いずれからも同一の画面で操作が可能であり、端末ごとの操作方法を覚える必要が無いこと。
	10	システム上の全ての画面から他の画面を介することなくメインメニュー画面への遷移が可能であること。
	11	メインメニューで新着情報が表示され、未処理の業務を把握できること。
	12	メインメニュー画面において、新着情報(保護者からの連絡など)が端末上で通知されること。
	13	教育委員会向けの管理アカウントがあること。管理アカウントからは、各園の情報を一括して閲覧・編集・ダウンロードやアカウント管理(利用不可、保護者のアカウントごとに権限設定が可能など)等ができること。

機能要件書

2. アカウント管理

項目	No.	機能要件
職員アカウント	1	職員アカウントの登録は、CSV等により追加・変更・削除の実施ができること。
	2	職員ごとにログインID及びパスワードを設定できること。
	3	職員ごとに担当クラスを設定することができ、各機能利用時に担当クラスの園児が標準で初期表示されること。
	4	職員アカウント単位で、機能別に「承認権限」「ダウンロード権限」「更新権限」「閲覧権限」「利用不可」の権限設定ができること。 ※文書の承認フローがシステムとして考慮されていること。
	5	職員の権限設定は、特定の権限（例：園長や教育委員会のみ）を持つアカウントからのみ行えること。
	6	特定の権限のある職員は、他の職員のパスワードを初期化できること。
	7	職員ごとに有効期限を設定でき、有効期限が切れた職員はログインすることができなくなること。
園児アカウント	8	園児基本情報として、以下の項目を管理できること。 園児名、園児名ふりがな、性別、生年月日、保護者氏名、保護者連絡先、郵便番号、住所、クラス、入園日、卒・退園日
	9	園児基本情報の項目は、上記に加え項目を任意で追加できること。 (備考欄に情報を入力する運用は、管理が複雑化する可能性があることから不可とする。)
	10	園児基本情報は、CSV等により追加・変更・削除の実施できること。
	11	園児基本情報のうち、一部項目については保護者がスマートフォンで変更を行うことにより情報が更新されること。
	12	上記更新項目は、即更新されるのではなく職員が内容を確認してから反映することができること。
	13	クラスとは別に任意のグループを作成ができ、グループに所属する園児情報をまとめて管理できること。
	14	園児のアレルゲン情報は、チェックボックス等の選択形式にて管理できること。
	15	初期設定で存在しないアレルゲン情報は記述式等の対応により記録できること。
	16	年度更新処理を行うことで、園児の再登録をすることなくスムーズに次年度のデータに更新が行えること。
	17	年度更新は予約登録ができ、事前に作業を実施できること。
	18	年度途中のクラス替えに対応していること。
	19	デモ園児を登録できること (登降園管理の園児数などには含まれない、保護者連絡テスト用に利用できるアカウントを作成できること)

機能要件書

3. 保護者向け機能

項目	No.	機能要件
保護者向け機能	1	保護者がスマートフォンを用い、各種情報連絡ができること。
	2	保護者向け機能は、スマートフォンアプリで提供されること（Android及びiOSともにアプリを提供すること）
	3	保護者アプリは、使用するスマートフォン端末にインストールされたOSの純正アプリケーションダウンロードサービス(iOSの場合はApp Store、Androidの場合はPlayストア)から、保護者自身でインストールできること。
	4	保護者がこのシステムを通じて使用する機能は、すべて保護者アプリ内の機能で動作を完結すること。 (ブラウザに画面遷移することがなく、アプリ内で操作を完結すること)
	5	保護者向け機能は、きょうだい複数名分をまとめて登録・操作が可能なこと。
	6	1園児に紐づく保護者は人数の上限なく登録可能であること。また各利用者毎に父・母・祖父母・親戚等、続柄を登録できること。
	7	保護者向け機能の初期設定は、各園から保護者に配布される専用のID・パスワードを保護者が入力することでできること。
	8	保護者向けID・パスワードの作成・出力は職員の負担が少なく、一括でダウンロードや印刷ができること。
	9	保護者向けマニュアルを作成し、適宜保護者へ配布できること。保護者向けマニュアルは、保護者向け機能からも閲覧可能であること。
	10	保護者向け機能から機能に関する問い合わせを保護者から直接受託者に問い合わせできること。
	11	卒退園後も保護者向け機能は継続して利用ができるような設定・選択が可能で、過去に配信された連絡等のデータを遡って閲覧できること。
	12	スマホ以外の方法（タブレットやPCなど）においてもシステムの登録・管理できること
	13	スマホを持っていない保護者へのフォロー策があること（システム外で「メール送信」は不可。システム内にスマホ所持の保護者のメールアドレスを登録でき、システム内からメール送信できる場合は可）
	14	保護者アプリは、「お知らせ」「アンケート」「連絡帳」等、項目種別毎の一覧表示機能に対応し、必要な情報をすぐに閲覧できるよう工夫されていること。
	15	保護者は欠席（病欠・都合欠）、遅刻、お迎え時間・お迎え者の変更を連絡できること。
	16	上記の連絡を園が未確認か確認済かを保護者が確認できること。
	17	病欠の場合は、症状（発熱・咳・鼻水・吐き気・下痢）及び病名（園児が罹患しやすい病名）をチェックボックス形式で選択し、申請できること。
	18	職員側管理画面では、保護者からの連絡（申請）情報が一覧で表示され、承認・未承認状況が一目で確認できること。
	19	申請の取り消しなど、職員側で内容の変更を行った場合はその履歴が確認できること。

機能要件書

3. 保護者向け機能

項目	No.	機能要件
お知らせ配信	20	園から保護者向けにお知らせの配信ができること。
	21	保護者向けにプッシュ通知（保護者が能動的に情報を入手するのではなく、受動的に情報入手が可能であること。例：スマホアプリによる通知機能。）が可能であること。 ※メールは不可。
	22	配信先は、全園児・学年別・クラス別・任意グループ別・個人別の指定ができること。
	23	入園前・卒園後の園児も配信先として指定できること。
	24	お知らせ本文は、文字サイズの変更・文字色の変更・太字・下線等の装飾に対応し、保護者の視認性を高める工夫ができること。
	25	添付ファイル（画像、PDFファイル）を送付できること。
	26	配信したお知らせについて、既読確認ができること。
	27	日時指定による配信予約ができること。
	28	配信したお知らせの公開期限を設定でき、公開期限を超過したお知らせは閲覧できなくなること。
	29	定型的な配信内容をテンプレート文として登録ができ、配信時に一覧から選択することで文章が自動転記されること。
	30	過去のお知らせ内容を複製し、下書きとして書き始められること。
	31	送信済みのお知らせを一覧で表示できること。また、配信先・タイトル等で絞り込みできること。
アンケート	32	保育幼稚園総務室は特定の権限を持った専用のアカウントにより、全園の保護者向けに一斉の情報配信ができること。
	33	保護者向けにアンケートを配信できること。
	34	アンケート設問は上限なく選択式（単数回答）・選択式（複数回答）・記述式のいずれかにて作成ができること。 また、アンケート設問は、回答必須の設定にも対応すること。
	35	過去のアンケートを複製し、下書きとして書き始められること。
	36	アンケート毎に回答期限を設定できること。また、期限が近づくと、自動で保護者アプリにプッシュ通知されること。
	37	保護者アンケート結果は自動集計作業を行えること。保護者別の回答内容を一覧で表示し、選択式設問はグラフィカルに結果を分析できること。
	38	アンケート結果はCSVで出力ができ、自由に編集できること。
39	アンケートの収集について、 記名必須、または、匿名、ともに収集対応ができること。	

機能要件書

3. 保護者向け機能

項目	No.	機能要件
行事予定	40	行事予定を保護者向けに配信できること。
	41	行事予定をカレンダー形式で表示できること。
	42	行事予定を変更した際は保護者向けに即時反映されること。
	43	行事予定は行事名・カテゴリ・開催日時・開催場所・持ち物・備考を入力できること。
	44	繰り返し設定が可能で、定期的に開催する行事は、一度登録するとそれ以降は任意の間隔で自動登録されること。
	45	作成した行事予定は、施設全体・クラス毎で印刷できること。
連絡帳	46	保護者は、保護者向け機能で家庭での様子を記した連絡帳を記入・送信できること。また、施設での様子を記した連絡帳を受信・閲覧できること。
	47	保護者が記入する連絡帳の項目として、機嫌・排便・食事・睡眠時間・体温・保護者からのコメントを設定できること。また、上記の加えて任意の項目を年齢別に追加・削除できること。
	48	職員は、保護者からの連絡帳記載内容を一覧で参照できること。
	49	職員は、連絡帳の記載内容を下書きとして一時保存できること。
	50	保護者は、保護者アプリから過去に送受信した電子連絡帳の内容を製本した冊子連絡帳を注文・購入できること。
	51	注文の際に、冊子のサイズ・ページ数、表紙の写真、製本対象とする連絡帳の期間を指定できること。
	52	決済は保護者アプリ内で行うことができ、園でのお金のやりとりが発生しないこと。決済方法はクレジットカード決済およびコンビニ決済に対応すること。
	53	保護者が購入した連絡帳は、製本のうえ、指定された場所へ郵送にて納品すること。
多言語対応	54	保護者向け機能が英語対応していること。言語の切り替えは保護者向け機能の設定変更により、保護者が容易に実施できること。

機能要件書

4. 登降園管理

項目	No.	機能要件
打刻機能	1	保護者はQRコードを端末にかざすことで登降園時間の打刻ができること。 ただしICカードにQRコードを貼り付けて読み込ませる対応も可とする。
	2	保護者が登降園管理のためのQRコードを忘れた際は、タブレット端末を用いて打刻操作することで、登降園時間を記録できること。
	3	QRコードによる打刻機能を利用できること。
	4	兄弟複数人が通っている場合は、兄弟全員を一度にまとめて打刻できること。
	5	保護者向けの画面からは、その他の業務画面が閲覧・操作できないこと。
	6	打刻結果は職員が園児ごとの一覧で確認できること。
	7	登降園時の入力漏れや修正等による変更入力や欠席理由の修正ができること。また、当日以外の記録も修正できること。
	8	打刻漏れ等の要確認事項が発生した際は、その旨を画面上に表示し注意喚起できること。また、当月の要確認事項一覧を表示し、画面上で効率的に打刻修正操作を行えること。
	9	保護者は保護者向け機能から過去の登降園時刻の履歴を確認できること。
	10	打刻が実施された旨のプッシュ通知が保護者アプリに対して実施されること。
出席簿	11	園児の出欠状況を記録し、出席簿をダウンロード・印刷できること。
	12	出席簿は日毎の出欠人数や園児毎の合計出欠日数が自動計算されること。
	13	出欠簿で出席状況や欠席の理由等が把握できること。
	14	保護者から連絡のあった欠席情報が出席簿に反映されること。
	15	日毎の出席状況の出力方式を園で任意に設定できること（出席の場合、「○」や「出」など自由に設定できること）。
	16	出席簿の様式はEXCELファイルを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること。変更設定は権限を持つ職員アカウントから随時実施が可能で、軽微な様式変更にもすぐに対応できること。
所在確認機能	17	登園予定時刻までに打刻がなかった場合、対象の園児名を一目で確認できるよう表示をさせることができること。

機能要件書

5. 帳票管理

項目	No.	機能要件
日誌	1	保育日誌を作成し、保存・印刷できること。
	2	各項目について文章雛形が表示され、参照・引用ができること。
	3	文章雛形は、各園毎に任意で独自の文章を追加できること。また、追加した雛形は園全体で共有できること。
	4	欠席者数と各園児の欠席理由は、出席簿と連動して自動入力されるなど、効率的に入力できる仕組みが用意されていること。
	5	様式はEXCELファイルを読み込ませることにより、任意の様式に変更できること。